

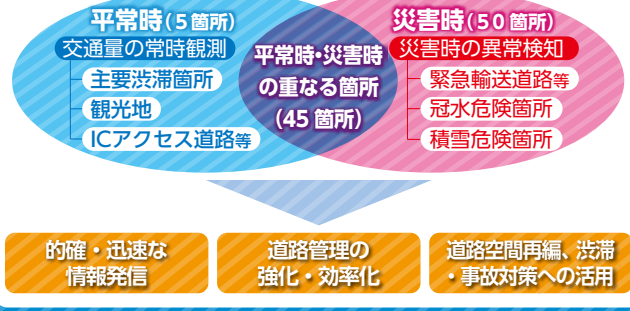
道路のデジタル化(DX)

～デジタル技術を活用した道路管理体制の強化～

交通マネジメントのデジタル化

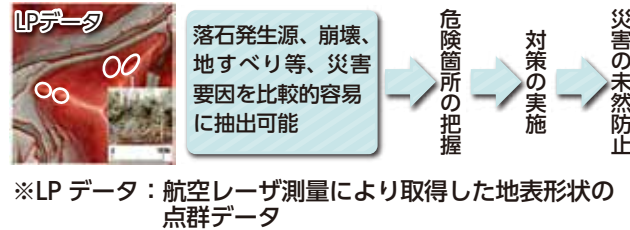
平常時や災害時において、AIカメラ等による観測体制を拡充

－ 100基のAIカメラ等を設置予定 －



道路メンテナンスのデジタル化

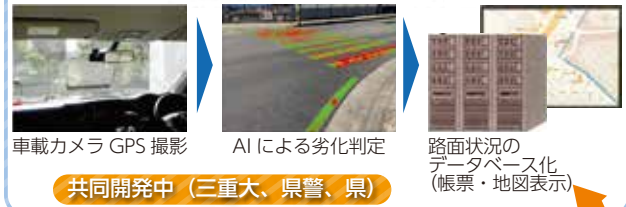
LPデータを活用し潜在的危険箇所を把握



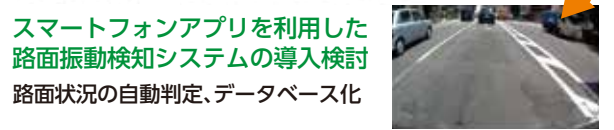
メンテナンスのデジタル化

ICT・AIを活用し道路メンテナンスの効率化を推進

AI路面標示劣化検知システム



導入検討中 路面振動探知システム



導入検討中 道路通報システム

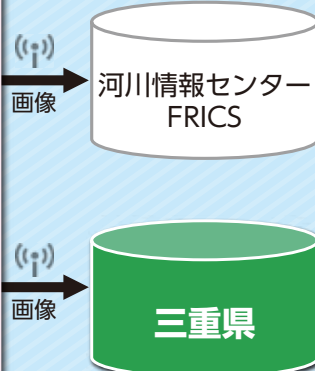


河川のデジタル化(DX)

～デジタル技術を活用した河川管理体制の強化～

①簡易型河川カメラの設置

- 重点監視箇所 48 河川、57 箇所に設置(令和5年3月末時点)
- ※重点監視箇所・・・特に水防活動上重要な箇所

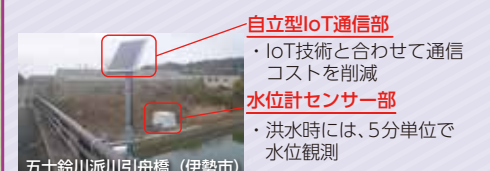


②川の防災情報(国)での画像データの提供

- 切迫感のある画像を提供し地域住民に適切な避難判断を促す



危機管理型水位計の設置



③河川DX中期計画(R4～R8)に基づく河川監視体制の強化

<河川監視機器の設置方針>

- 重点監視箇所に水位計、カメラの両方を設置し、インターネット等で住民へ情報提供

※重点監視箇所：背後に人家があり、過去に浸水被害がある箇所の中で、堤防高が低い箇所やバックウォーター現象が発生する恐れがある箇所



<観測データの利活用>

- 豪雨、河川別に河川データをアーカイブ化

重点監視箇所(水位計+カメラ)：令和3年度末 44箇所 → 令和4年度末 56箇所 → 令和8年度末 102箇所(目標)